

# 8 総合的な学習の時間の指導計画

総合的な学習主任

**本校の教育スローガン「えがお いっぱい」**  
 ◎3つのえがお  
 やさしいえがお（命を尊び、思いやりあふれる子）  
 はじけるえがお（体を鍛え、力いっぱい励む子）  
 自信のえがお（深く考え、自ら学ぶ子）

**＜総合的な学習でめざす姿＞**  
 地域の自然や人々とのふれあいを通して、  
 ①自他の生命を尊重し、考えや生き方を学ぶ  
 ②自分のよさを認め、よりよく生きようとする  
 ③郷土を愛し、郷土の未来について考える

**本校の研究＜学習や生活に生きて働く「書く力」の育成＞**  
 —「書写力」を基盤とした学力の向上を目指して—  
 ・読みやすく書きやすい文字が書ける＜書写力＞  
 ・文字のもつ意味を正確に理解し大切に書く＜語彙力＞  
 ・目的や場面に合わせて書き分けることができる＜活用力＞

| 各学年の概要                    |  | 3年  | 4年   | 5年   | 6年   |
|---------------------------|--|---|--|--|--|
| 系統性                       | 「郷土」「環境」をキーワードに、3・4年は地域への広がり、5・6年は過去や未来への広がりを持たせた「ふるさと学習」である | 自然を見つめる   | 環境を考える   | 伝統を受け継ぐ  | 未来へ伝える<br>未来を考える   |
|                           | 探究の過程  | 育てたい力・心   |  |  |  |
| 過程                        |  | 「山中いきものマップ」<br>(4月から11月)  | 「3Rで地球を救え」<br>(4月から2月)   | 「受け継ごう 伝統芸能デンデンガッサリ」<br>(4月から2月)   | 「ふるさと山中」<br>(4月から2月)   |
| 時間                        | 「岡崎市環境学習プログラム」は15時間程度の実施。教科の時間も利用できる                         | 35時間（環境含む）<br>(35時間は英語へ)  | 35時間（環境含む）<br>(35時間は英語へ)   | 70時間（環境含む）   | 70時間（環境含む）   |
| 感じる力・心                    | ■課題の設定<br>(体験的な活動を通して課題意識を持つ)                                | ・問題発見能力<br>・課題設定能力<br><br>・感動する心<br>・驚きや疑問を感じる心                                 | 「北山湿地へ自然観察に行こう」<br>・ネイチャーガイド<br>・春見つけなど<br><br>「学校や家のまわりでも調べよう」                              | 「社会科で3Rを学んだ。クリーンセンターにも行ったよ」<br>「ごみ処理や3Rについて家やお店でも調べてみよう」                       | 「自分の住んでいる町の自慢を発表しよう」<br>・北山湿地 ・田んぼ<br>・扇子山 滝<br>・神社 お祭り<br>・お店 ・昔話                           |
|                           | ■情報の収集<br>必要な情報を取り出したり、収集したりする)                              | ・問題解決能力<br>・思考力・判断力<br>・情報収集能力<br>・情報活用能力<br>・情報分析能力<br>・意思決定力<br>・協同する力        | ・タンポポ調べ<br>・モンシロチョウやアゲハの飼育や観察<br>・トンボの羽化<br>・田んぼのいきもの「ぼく・わたしの木を決めて観察しよう」                     | ・通学路のごみ調査<br>・家庭のごみ調査<br>・家庭のリユース<br>・スーパーのエコ<br>・環境ラベル<br>・江戸時代のエコ<br>・川の水質調べ | 「自分の町内の神社やお祭りを調べよう」<br>・いつ・誰が・祭は？<br>★デンデンガッサリ<br>⇒共通課題<br>「祭りの意味や受け継ぐ価値を考えよう」               |
| 追究する力・心                   | ■整理・分析<br>取り出した情報を整理したり分析したりして考察する)                          | ・他者を認める心<br>・思いやりの心<br>・自然を慈しむ心<br>・異なる意見や他者を認める心                               | 「たくさんのいきものが見つかったよ」<br>「たんさんの植物が見つかったよ」<br>「マップにしてまとめたらよくわかるよ」<br>「樹木医の先生にお話を聞いたら木の気持ちがわかったよ」 | 「調べたことを発表し合って考えよう」<br>・ワークショップ<br>・3Rの中で、もっとも大事なRはどれ？                          | 「保存会もあるよ」<br>「話を聞こう」<br>「歌や所作を教えてもらい、体験しよう」<br>「祭りには深い意味があるんだな」<br>「ぼくたちが受け継いで、未来にのこしていきたいな」 |
|                           | ■まとめ・表現<br>気付きや発見、自分の考えをまとめ、判断し、表現する)                        | ・コミュニケーション能力<br>・プレゼンテーション能力<br>・表現力、実践力<br>・メタ認知能力<br>・感謝する心<br>・自信と自尊心（自己肯定感） | ・マップ作り<br>「みんなで協力したらすごいマップができたよ」<br>「全校のみんなにも教えてあげよう」<br>「俳句を作ったよ」                           | 「ごみを減らし、町をきれいにする活動をしよう」<br>・学級フリーマーケット<br>・エコ工作<br>・エコクッキング<br>・残飯0活動          | 「集会で発表しよう」<br>「山中八幡宮で発表会をさせてもらおう」<br>「ポスターやパンフレットにまとめよう」<br>「4年生に伝えて伝統をつなげたい」                |
| 表す力・心                     |  |   |  |  |  |
| 岡崎市環境学習プログラムの実施<br>その他の活動 |  | 「岡崎市環境学習プログラム」は、いきもの調査と関連させて1学期に実施することがよい。温度計の使い方を1学期に学習するようにすると扱いやすい。          | 「岡崎市環境学習プログラム」は、社会科と関連させて9月から実施。1学期の総合的な学習は、「ツバメ」か「ゲンジボタル」等扱うとよい。                            | 「岡崎市環境学習プログラム」は、1学期に実施。米作りを通してネイチャーテクノロジーに触れ、伝統芸能にも結び付けられるとよい。                 | 「岡崎市環境学習プログラム」は、環境問題を「食」の面から考え、地産地消やフードマイレージを学ぶ。オリジナルメニュー作りなど結びつけるとよい                        |

＜実施上の留意事項＞

**＜評価＞**  
 ■自己評価カード  
 ■相互評価  
 ■他者評価  
 (保護者の評価)  
 ■日記  
 ■活動のようす

**＜人・地域のつながり＞**  
 ■地域の教材化  
 ■ゲストティーチャーの活用  
 ■保護者の協力  
 ■連携や交流 ・山中保育園  
 ・愛恵協会 等  
 ■家庭・地域への発信

**＜教材のつながり＞**  
 ■3年理科「しぜんのかんさつをしよう」との関連  
 ■4年社会「ごみのしよ理と利用」との関連  
 ■書写の「生活に広げよう」を活用した表現  
 ■道徳や特別活動との連携  
 ■E S Dカレンダーの活用

**＜態度のつながり＞**  
 ■日常の学校生活へつなげる  
 ■家庭での活動につなげる  
 ■自分の生き方を見つめる  
 ■地域の活動に広げる  
 ■観察会・ボランティア活動等に参加する